

付属資料 1 管理ファイルの DTD

各管理ファイルの DTD を以下に示す。なお、DTD ファイルは、農林水産省のホームページ (http://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/nouhin_youryou/sonota.html) から入手できる。

(1) 業務管理ファイルの DTD

業務管理ファイル(INDEX_MD.XML)の DTD(IND_MD03.DTD)を以下に示す。

```
<!-- IND_MD03.DTD / 2014/03 -->
<!ELEMENT gyomudata (基礎情報, 業務件名等, 場所情報?, 施設情報?, 発注者情報, 受注者情報, 業務情報, 予備*, ソフトメ
ーカ用 TAG*)>
  <!ATTLIST gyomudata DTD_version CDATA #FIXED "03">

<!-- 基礎情報 -->
<!ELEMENT 基礎情報 (メディア番号, メディア総枚数, 適用要領基準, 報告書フォルダ名?, 報告書オリジナルファイルフ
ォルダ名?, 図面フォルダ名?, 写真フォルダ名?, 測量データフォルダ名?, 地質データフォルダ名?)>
  <!ELEMENT メディア番号 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT メディア総枚数 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 適用要領基準 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 報告書フォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 報告書オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 図面フォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 写真フォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 測量データフォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 地質データフォルダ名 (#PCDATA)>

<!-- 業務件名等 -->
<!ELEMENT 業務件名等 (業務実績システムバージョン番号, 業務実績システム登録番号, 設計書コード, 業務名称, 住所
情報+, 履行期間-着手, 履行期間-完了)>
  <!ELEMENT 業務実績システムバージョン番号 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 業務実績システム登録番号 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 設計書コード (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 業務名称 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 履行期間-着手 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 履行期間-完了 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 住所情報 (住所コード+, 住所+)>
  <!ELEMENT 住所コード (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 住所 (#PCDATA)>

<!-- 場所情報 -->
<!ELEMENT 場所情報 (測地系?, 水系-路線情報*, 境界座標情報?)>
  <!ELEMENT 測地系 (#PCDATA)>
```

<!ー 水系-路線情報 ー>

<!ELEMENT 水系-路線情報 (対象水系路線コード?, 対象水系路線名?, 現道-旧道区分?, 対象河川コード*, 左右岸上下線コード*, 測点情報*, 距離標情報*)>

<!ELEMENT 対象水系路線コード (#PCDATA)>

<!ELEMENT 対象水系路線名 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 現道-旧道区分 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 対象河川コード (#PCDATA)>

<!ELEMENT 左右岸上下線コード (#PCDATA)>

<!ー 測点情報 ー>

<!ELEMENT 測点情報 (起点側測点-n?, 起点側測点-m?, 終点側測点-n?, 終点側測点-m?)>

<!ELEMENT 起点側測点-n (#PCDATA)>

<!ELEMENT 起点側測点-m (#PCDATA)>

<!ELEMENT 終点側測点-n (#PCDATA)>

<!ELEMENT 終点側測点-m (#PCDATA)>

<!ー 距離標情報 ー>

<!ELEMENT 距離標情報 (起点側距離標-n?, 起点側距離標-m?, 終点側距離標-n?, 終点側距離標-m?)>

<!ELEMENT 起点側距離標-n (#PCDATA)>

<!ELEMENT 起点側距離標-m (#PCDATA)>

<!ELEMENT 終点側距離標-n (#PCDATA)>

<!ELEMENT 終点側距離標-m (#PCDATA)>

<!ー 境界座標情報 ー>

<!ELEMENT 境界座標情報 (西側境界座標経度, 東側境界座標経度, 北側境界座標緯度, 南側境界座標緯度)>

<!ELEMENT 西側境界座標経度 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 東側境界座標経度 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 北側境界座標緯度 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 南側境界座標緯度 (#PCDATA)>

<!ー 施設情報 ー>

<!ELEMENT 施設情報 (施設名称*)>

<!ELEMENT 施設名称 (#PCDATA)>

<!ー 発注者情報 ー>

<!ELEMENT 発注者情報 (発注者機関コード, 発注者機関事務所名)>

<!ELEMENT 発注者機関コード (#PCDATA)>

<!ELEMENT 発注者機関事務所名 (#PCDATA)>

<!ー 受注者情報 ー>

<!ELEMENT 受注者情報 (受注者名, 受注者コード)>

<!ELEMENT 受注者名 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 受注者コード (#PCDATA)>

<!ー 業務情報 ー>

<!ELEMENT 業務情報 (主な業務の内容, 業務分野コード+, 業務キーワード+, 業務概要)>

<!ELEMENT 主な業務の内容 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 業務分野コード (#PCDATA)>

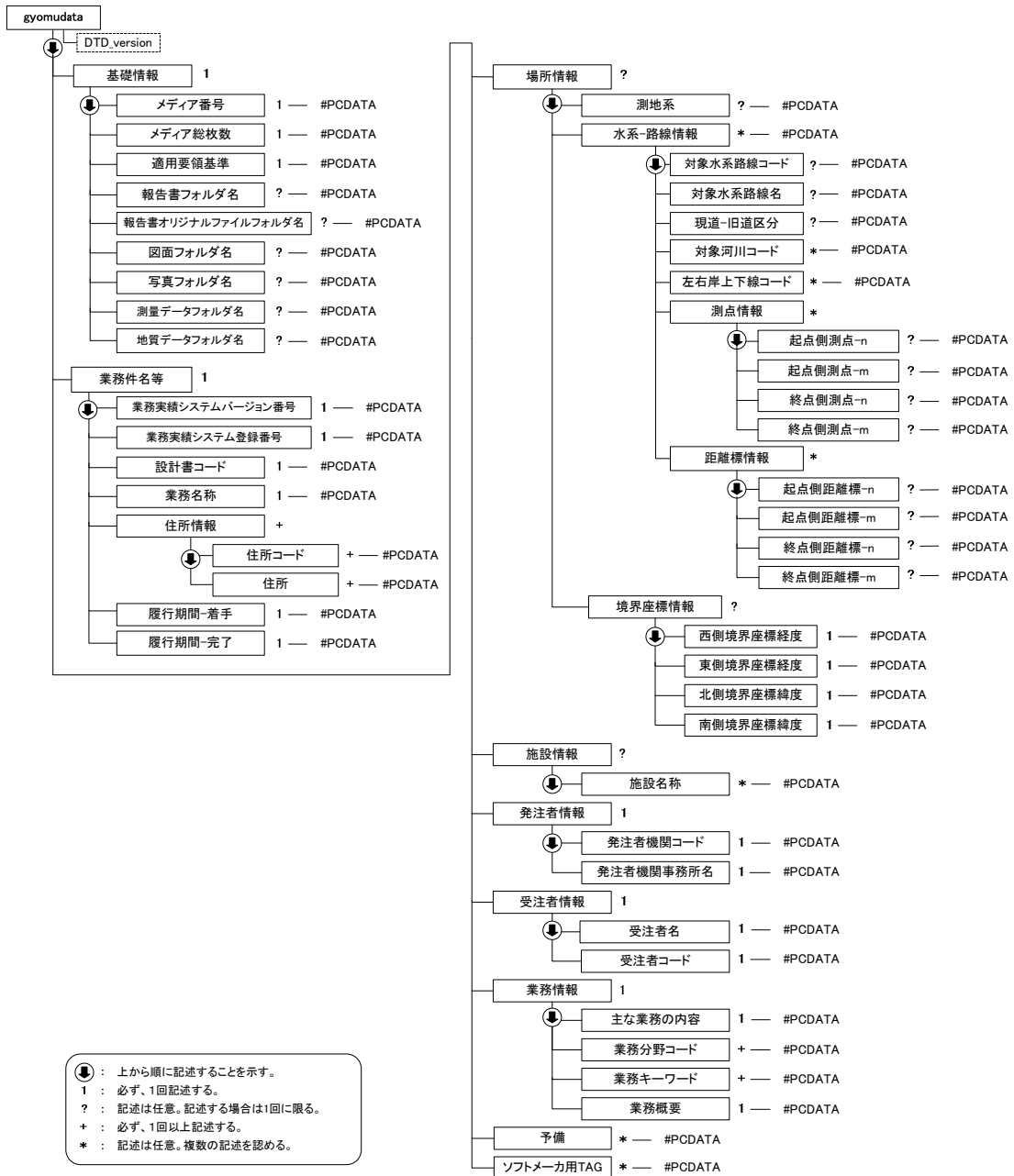
<!ELEMENT 業務キーワード (#PCDATA)>

<!ELEMENT 業務概要 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカー用 TAG (#PCDATA)>

IND_MD03.DTDの構造図



● : 上から順に記述することを示す。
 1 : 必ず、1回記述する。
 ? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
 + : 必ず、1回以上記述する。
 * : 記述は任意。複数の記述を認める。

付図 1-1 業務管理ファイルの DTD の構造

(2) 報告書管理ファイルの DTD

報告書管理ファイル(REPORT.XML)の DTD(REP03.DTD)を以下に示す。

<!— REP03.DTD / 2014/03 —>

<!ELEMENT reportdata (報告書ファイル情報+, ソフトメーカー用 TAG*)>

<!ATTLIST reportdata DTD_version CDATA #FIXED "03">

<!— 報告書ファイル情報 —>

<!ELEMENT 報告書ファイル情報 (報告書名, 報告書副題?, 報告書ファイル名, 報告書ファイル日本語名?, 報告書ファイル作成ソフトウェア名, 設計項目?, 成果品項目?, 報告書オリジナルファイル情報*, その他?)>

<!ELEMENT 報告書名 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 報告書副題 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 報告書ファイル名 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 報告書ファイル日本語名 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 報告書ファイル作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 設計項目 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 成果品項目 (#PCDATA)>

<!— 報告書オリジナルファイル情報 —>

<!ELEMENT 報告書オリジナルファイル情報 (報告書オリジナルファイル名?, 報告書オリジナルファイル日本語名?, 報告書オリジナルファイル作成ソフトウェア名?)>

<!ELEMENT 報告書オリジナルファイル名 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 報告書オリジナルファイル日本語名 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 報告書オリジナルファイル作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>

<!— その他 —>

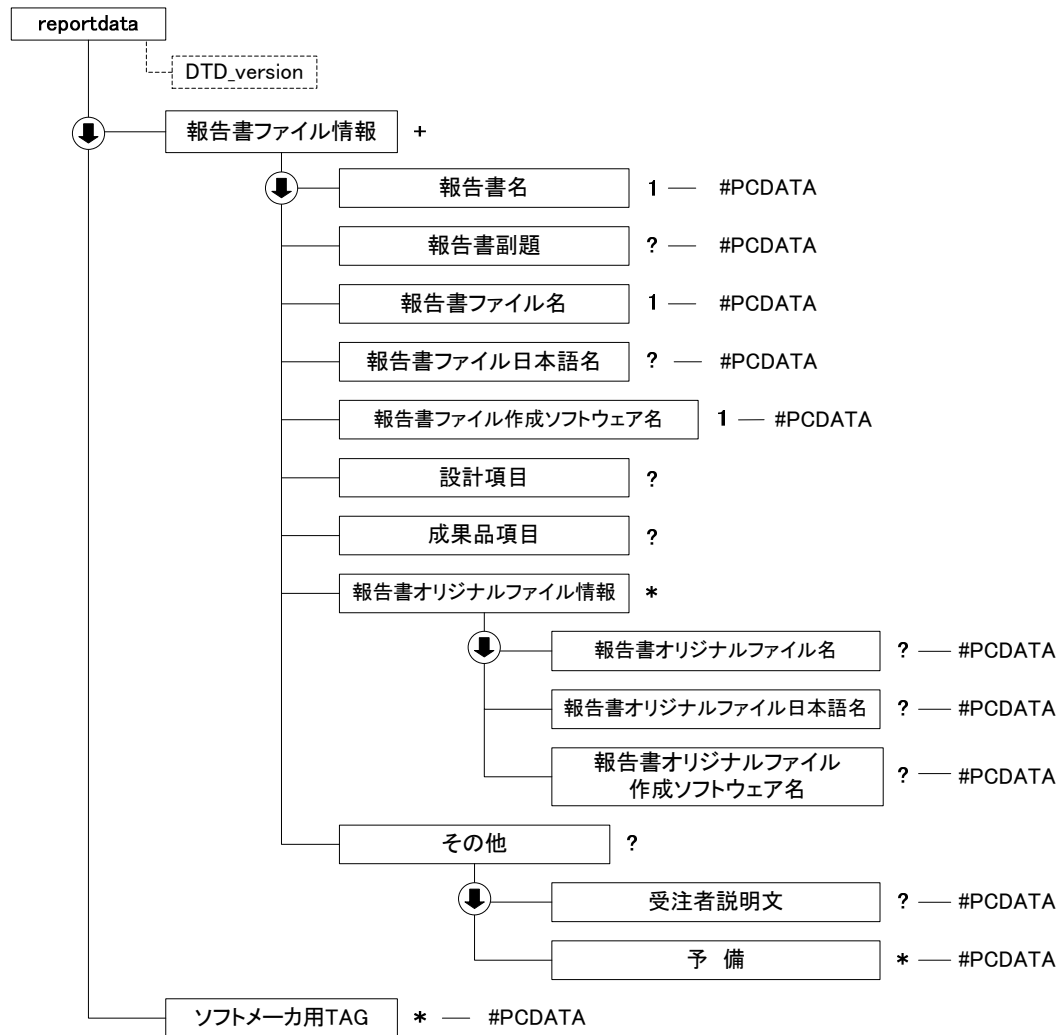
<!ELEMENT その他 (受注者説明文?, 予備*)>

<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカー用 TAG (#PCDATA)>

REP03.DTDの構造図



- ↓ : 上から順に記述することを示す。
- 1 : 必ず、1回記述する。
- ? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
- + : 必ず、1回以上記述する。
- * : 記述は任意。複数の記述を認める。

付図 1-2 報告書管理ファイルの DTD の構造